「特定非営利活動法人・総ぐるみ福祉の会」　2013/4/5発行　NO.90

「総ぐるみ」新聞

ＮＰＯ総ぐるみ福祉の会事務所は日限山4-45-10（八四六―八八五〇）
入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」日限山4-7-1

「弥生の茶会」を開催

宮崎浩子

三月三日、総ぐるみ福祉の会は「弥生の茶会」（ひな祭り茶会）を開催しました。

毎年の恒例行事として初釜を行っており、一月七日に自治会館で開催したばかりでしたが、今度は、当会の事務所でお茶会をしようと計画しました。幸い事務所には床の間付きの和室があり、隣にダイニングルームが続くので、椅子席もつくれそうと、大橋綾子さんと共に構想を練りました。大橋さんの豊かな想像力は、どんな場所も立派なお茶室にしてしまいます。

今度は、事務所を会場に使うので、前日から準備や用意ができるし、当日も時間を気にしないで片付けが行えるので、楽な気持ちでお茶会を開くことができました。

当日は、立派なお茶室ができあがりましたが、お食事をする場所が日頃事務をしている部屋になってしまいました。テーブルの上にはペンやファイル、定規やはさみ等の事務用品が置いてあるテーブルです。一献を召し上がっていただき、酒の肴の八寸として、大橋さんが作ってくださった薄炊き新芽筍と貝の焼き物。京樽の「姫ちらし」（菱形のちらし寿司）とみかんでした。

お茶席の床の間の掛け軸は『百花開誰為』。その意味は「春の花が美しく咲き乱れるのは誰のために咲くのだろう、いや誰かのためではない、大自然の摂理のなか、与えられた場所で精一杯生きることだ」という教えでしょうか。お花は桃と桜草で、花入れは備前。お釜は透木釜。徒然棚には青磁の皆具、棚前には京焼き雛茶碗と珠光なつめ、春らしいお道具をそろえていただきました。お菓子は「いしかわ」の桜餅でした。

ご参加くださった方々は34名、内２名の方はお茶席には間に合いませんでしたが、お茶会の雰囲気は見ていただきました。着物姿で参加された方も多く、華やいだ楽しい会になりました。「ひな祭り」の歌を歌い、皆さんの顔が紅潮して、とても若々しく見えました。ピンクの着物を着た3歳のお嬢ちゃんも。大きな抹茶茶碗をママに助けられて飲んでくださいました。

お茶会を終えて考えました。にぎやかで楽しい会であれば良いのだろうか、でも、お茶会にはぴりっとした緊張感も味わいたい、と思ったのです。どんな工夫をしたら、事務所で「和敬清寂」といわれる清寂と緊張感を体験できるお茶会ができるでしょうか。また、大橋さんにご相談して、考えていただきましょう。

▼お茶会に参加して

雨宮　初枝

ひな祭りのお茶会のお誘いを受けて、友人３人と共に参加しました。事務所に伺うのは２度目ですが、緋毛氈が敷かれて、とても華やいで見えました。

お茶席で立ち働かれる皆様の着物姿にうっとりし、おいしいちらし寿しの食事と、木村さんの入れてくださったコーヒーを堪能し、楽しいひと時を過ごすことができて、忘れられないひな祭りとなりました。

お抹茶をいただきながら、40年ほど前、仕事帰りにお茶のお稽古に通っていた日々を思い出して、感慨深かったです。

このような楽しくあたたかいお茶会を催

健康体操の予定日：4月26日。　　マッサージの予定日：4月5，19日。

4 月の日限山荘は、2, 5, 9, 12, 16, 19, 23, 26, 30 日 am10:00～pm4:00 まで開催します。

してくださった大橋さんや宮崎さんをはじめとする皆さん、ありがとうございました。

総ぐるみ福祉の会に参加したお陰で、近隣の方々と顔見知りになり、これから暮らしていくのに心強く、楽しみが増えました。

▼弥生の茶会に誘われて　　廣川　麗子

人生の先輩であり、友人でもある寺島さんに誘われて、今回初めて弥生の茶会に参加させていただきました。

会場である事務所の玄関に入ると、着物で正装された宮崎さんと松尾さんに出迎えられ、いつもと違う凛とした姿に驚きました。部屋に入ると、春を思わせるお軸やお道具・お花が私を迎えてくれました。

総ぐるみの会員の方々が次々と加わって、和気藹々とおしゃべりを楽しみながら、お抹茶とお食事をいただき、なごやかな雰囲気の時が流れていきました。コーヒータイムがあったのも、家庭的な暖かさを感じました。これも、会員の皆様の長いお付き合いから培われたつながりによるものでしょう。そのような皆様の中に心地よく参加して、楽しい一日を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

▼弥生の茶会に参加　　寺島　住江

宮崎理事長の「いらっしゃいませ」のお出迎えを受け、事務所で初めて行われたひな祭り茶会に参加しました。大橋先生の格調高いお道具は素晴らしく、床の間の掛け軸「百花開誰為」、蛤の香合、桃の花と桜草が活けられ、春満開でした。お棚も徒然棚でひし形をしており、茶釜も行事に合ったものを使うことを初めて知りました。鳴り物のドラは、お客様の人数によって打ち方が異なるそうです。

一席目は大橋先生のお点前。私は、二席目に緊張のなか桜餅をいただき、松尾さんのお点前で薄茶を一服ちょうだいしました。

お昼は、八寸とひなちらし寿司をいただき、同じテーブルを囲んだ上山さん、宮本さん、勝部さん、沖さん、廣川さんともお話が弾んで、楽しいひと時でした。隣室で、ひな祭りなどの懐かしい歌を歌ったりして時を過ごすうちに、木村さんのコーヒーのサービスがあり、大勢の方々と楽しく過ごさせていただきました。

着物姿でお茶会をきりりと盛り上げてくださり、当日の準備やお手伝いをしてくださった皆様、割烹着姿もすてきでした。

心より御礼を申し上げます。

▼弥生の茶会のお礼　　宮本　鈴子

春めいて穏やかな日3月3日、弥生の茶会が開かれ、出席させていただきました。

宮崎理事長、大橋先生をはじめ、準備やお手伝いをしてくださった皆様、お茶会のお支度には並々ならぬご苦労があったことと、心より御礼申し上げます。

左のつたない句をお礼のしるしとします。

○どなたかと見まごうさばき（お手さばき）
　お茶の会

○弥生の会回るお薄（薄茶）のよき加減

会員のための喫茶店を開店

コーヒーを飲みながら、気軽におしゃべりをしたり、会員同志がくつろいだりする喫茶店を、週1回開店しましたので、お知らせします。

場　所……事務所の食堂
開催日……木曜日
時　間……午後1時～4時頃まで
料　金……一〇〇円
◎芳志箱にお入れください。なお、ケーキなどがついた時には、気持ち多く入れてくださいませ。

…「NPO 総ぐるみ福祉の会」のホームページ（http://sougurumi.jp/）をぜひご覧ください。…

編集：藤井香代